

お元気ですか

南 恵子

です

発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



超党派で廃止を申し入れた29号線計画が復活した訳は

東京都の聞き取り
に対して

濱野区長が「整備が 必要」と回答したから

住民を追い出し、まちを壊しても防災の役に立たない都道29号線が、品川区議会で廃止を求めているにもかかわらず急に動き出した背景に、都からの意見照会に濱野区長が「29号線と放射2号線」と回答していたことが、東京都の資料でわかりました。

東京都と品川区のやりとりの経過は

2年前の平成24年1月20日、東京都はオリンピックの年の2020年完成を目指した特定整備路線について、地元自治体と連携して推進することを明らかにしました。

同じ年の5月8日、東京都建設局長名で品川区長あてに「『木密地域不燃化10年プロジェクト』の特定整備路線について」と題する意見照会を送付しました。送付文書には、「貴区で整備が必要と考える路線(区間)と、その沿道における不燃化の取り組み状況、今後の予定等についてご意見を・・・」と記されていました。

濱野区長は、平成24年5月21日付で回答しています。その内容は、「整備が必要とする路線、①補助29号線、②放射2号線と明記されています。

濱野区長の意思が都の意思決定につながる

その様な経過を踏まえて、東京都は平成24年6月28日に「木密地域不燃化10年プロジェクト特定整備路線候補区間の選定」を29号線にする」と発表しました。

濱野区長の推進を求める意見があつたからこそ、東京都が決定を決めたのです。

つまり、巨道路計画は東京都だけでなく、品川区の意思も強くあつたのです。

品川区と対照的な意見を表明した区も

一方、「除外」や「住民との関係づくりが不可欠」と表明した区もあつたこともわかりました。

北区は、「地元の状況等、周辺環境や区議会の意向を総合的に勘案すると、実質8年間という限られた時期での整備は困難。特定整備路線の候

補区間から除外してほしい」と回答しています。

杉並区は、「地域住民をはじめ、議会の理解と合意が不可欠で、この課題の解決なくして都市計画道路の整備を提案することは困難」

台東区は「特定候補路線とすべき対象路線はありません」と回答。

以上のように、住民との関係を重視したり、明快に「対象はない」と回答していますが、本来、自治体の姿勢は住民本位であるべきですから、他の区長の姿勢は当然だと思っています。

品川区の場合、防災対策の必要性和緊急性はありますが、余りにも進め方が乱暴なこと、道路だけしかなくとも問題です。もっと住民の気持ちを丁寧を受け止めるべきです。



区教育委員会は



今年の夏 来年度の小学校用教科書を 決めます



小学生が使う教科書は、現職の教師によってどの教科書がどのようになっているのかなどの調査を行い、教育委員によって「採択」して決まります。次代を担う子どもたちが日本国憲法に基づいて命を大事にし、世界の人々と友好的関係を築き、平和な社会をつくることが何よりの願いです。学校教育をその願いのもとで実施してほしいと考えています。

ところが安倍内閣は、過去の過ちを正しくみない「間違った歴史観」を盛り込んだ教科書を使うような動きを強めていますので、地域の中から、そのような動きを許さないような取り組みが大事になっています。

そこで、呼びかけます。

品川区教育委員会の傍聴をしましょう。

6月10日、17日pm2時～

教科書の展示を見に行きましょう。

6月13～28日 品川図書館、教育センター



生活・雇用・子どもだて

連絡先

南恵子区議会議員

電話(3790)

1523

相談ください